

整理番号 2023M-159  
補助事業名 2023年度 国際シンポジウム・ダイアログ推進補助事業  
補助事業者名 一般財団法人 国際経済交流財団

## 1 補助事業の概要

### (1) 事業の目的

日本の機械工業を取り巻く世界の政治経済情勢（現下では、地政学的リスクの増大、多角的自由貿易体制の揺らぎ、ウクライナ戦争の下でのエネルギー、食糧制約の高まりとその環境問題への影響が、最重要）について、世界各地域の経済・外交政策の決定に影響力を有する識者と情報交換、意見交換を行うことで、日本の機械工業のビジネス環境の改善に役立てる。

### (2) 実施内容

#### ① 日米フォーラム

2023年11月に日本側3名の講師、若手研究者及び財団職員が渡米し、ワシントンD.C.においてフォーラムを開催。2023年11月13日に、米国で定評のあるシンクタンク、ブルッキングス研究所との共催で、APEC首脳会議2023：地政学的分断の世界における気候・貿易政策の未来について、公開ラウンドテーブル・ディスカッション形式で開催した。

日本側からは3名の講師および弊財団会長、専務理事が参加、米国からは5名が参加した。また聴衆55名が参加し、会議のライブ配信視聴者は591名であった。

(URL) <https://www.jef.or.jp/forum/usforum/>

2023年度日米フォーラム 2023年11月13日(月) (於：ワシントン D.C.)

#### 写真ページ



開会の辞 豊田 正和



Panel 1 モデレーター Samantha Gross 氏



Panel 1 スピーカー 山下 ゆかり 氏



Panel 1 スピーカー Jonathan Elkind 氏



Panel 1 スピーカー Jennifer Sklarew 氏



Panel 2 モデレーター 原岡 直幸



Panel 2 スピーカー 川瀬 剛志 氏



Panel 2 スピーカー 藤井 康次郎 氏



Panel 2 スピーカー Mireya Solís 氏



Panel 2 スピーカー Inu Manak 氏





若手研究者 室町 峻哉 氏



会場の様子



集合写真

## ② 日欧フォーラム

2023年11月に日本側3名の光氏のうち、2名、若手研究者及び財団職員はオンライン参加、現地ロンドンでは、英国側講師、日本側講師1名が英国・ロンドンの会場から参加とするハイブリッド形式にてフォーラムを開催。2023年11月30日に、英国で定評のあるシンクタンク、王立国際問題研究所（チャタムハウス）との共催で、地政学的に厳しい時代のリスク回避行動と多角化—日本と欧州のより効果的な協力はどのように可能かについて、非公開ラウンドテーブル・ディスカッション形式で開催した。

日本側からは講師の他弊財団会長、専務理事が参加、英国からは講師を含め6名が参加、また聴衆32名が参加した。

(URL) <https://www.jef.or.jp/forum/euforum/>

2023 年度日欧フォーラム 2023 年 11 月 30 日 (木) (オンライン)

## 写真ページ



開会の辞 : Ben Bland 氏



開会の辞 : 豊田 正和



開会時の英国側の様子



Session 1: 会議の様子



Session 1: スピーカー Baroness Vere氏



Session 1: スピーカー 渡邊 真理子氏



Session 1: スピーカー Andrew Cainey氏



Session 1: スピーカー Yu Jie氏



Session 2: モデレーター 原岡 直幸



Session 2: 英国側の様子



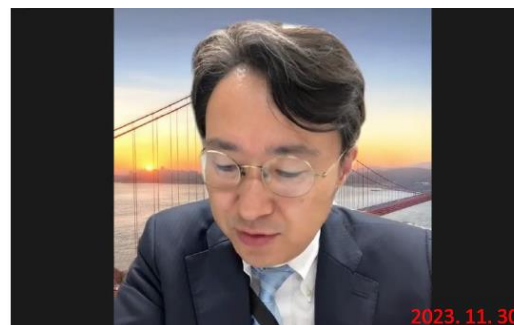
Session 2: スピーカー Chietigj Bajpae氏



Session 2: スピーカー 伊藤 政道氏

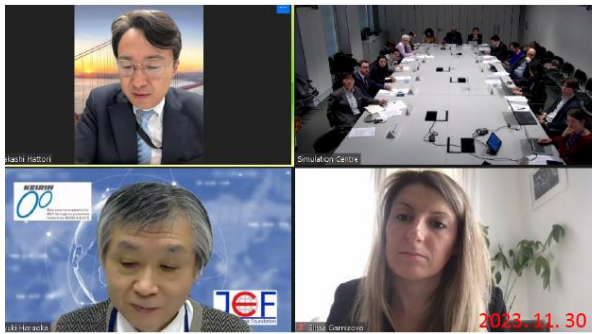


Session 2: スピーカー Minako Morita-Jaeger氏



Session 2: スピーカー 服部 崇氏





Session 2: 会議の様子



日本側事務局

## 2 予想される事業実施効果

- ・フォーラム開催地域の有識者の層が厚くなって来ており、議論の内容をまとめた提言が各地の政策立案者にも伝わるような流れを構築する。
- ・時差がある海外での開催であり、日本の聴衆が同時視聴することは難しかったが、新規に動画配信による情報提供体制を構築した。報告書による文字情報に加え、JEF及び共催機関のウェブページから、フォーラムの録画を見ることができる（2023年度は、日米フォーラムで実現）。掲載された報告書や動画へのリーチ数増加を図り、地域や産業を問わず、より広範な層へのアクセスを促すことでより多くのグローバル企業や政府関係者の判断材料を増やせれば、より良い政治経済インフラの整備に寄与することが見込める。
- ・産学官の関係ウェブページ等へ広報を強化し、JEFのE-ジャーナルと併せフォーラム動画や報告書のリンクの掲載ができれば、これまで限定的だった読者以外に普及させることができる。
- ・フォーラムに日本の若手研究者の参画を促し、各国有識者との人脈構築や意見聴取をしてもらえれば、より広い視野を持てるようになり、将来を担う人材を育てることができる。


### 3 補助事業に係る成果物

#### (1) 補助事業により作成したもの

##### ① 2023年度日米フォーラム報告書

[2023us\\_jp\\_report.pdf \(jef.or.jp\)](https://jef.or.jp/2023us_jp_report.pdf)

#### \*表紙と目次ページ

<p>2023年度日米フォーラム Japan-US Forum 2023</p> <p>APEC Summit 2023: The Future of Climate and Trade Policies in a World of Geopolitical Divides</p> <p>報告書</p> <p>2023年11月13日(月) 一般財団法人 国際経済交流財団</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;"><p>競輪の補助事業    この報告書は競輪の補助により作成しました <a href="https://jka-cycle.jp">https://jka-cycle.jp</a></p></div>	<p>目次</p> <ul style="list-style-type: none"><li>1. 開催趣旨……………1</li><li>2. 開催概要……………3</li><li>3. 詳細日程……………5</li><li>4. 出席者略歴……………6</li><li>5. 議事要旨<ul style="list-style-type: none"><li>〈1〉日本語……………10</li><li>〈2〉英語……………14</li></ul></li><li>6. 若手研究員の参加報告<ul style="list-style-type: none"><li>〈1〉小論文……………19</li><li>〈2〉筆者略歴……………25</li></ul></li><li>7. 成果……………26</li><li>8. アンケート集計報告……………27</li><li>9. 共催団体紹介……………30</li><li>10. 事務局……………31</li></ul>
--	---

② 2023年度日欧フォーラム報告書

[2023eu\\_jp\\_report.pdf \(jef.or.jp\)](https://www.jef.or.jp/2023eu_jp_report.pdf) (URL)

\*表紙と目次ページ

<p>2023年度日欧フォーラム Japan-Europe Forum 2023 “De-risking and diversification in tough geopolitical times” How can Japan and Europe cooperate more effectively?  報告書  2023年11月30日(木) 一般財団法人 国際経済交流財団</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"><p> 運輸の補助事業 この報告書は運輸の補助により作成しました <a href="https://jica-cycle.jp">https://jica-cycle.jp</a></p></div>	<p>目 次</p> <table><tr><td>1. 開会宣言.....</td><td>1</td></tr><tr><td>2. 開会挨拶.....</td><td>4</td></tr><tr><td>3. 詳細日程.....</td><td>6</td></tr><tr><td>4. 出席者略歴.....</td><td>9</td></tr><tr><td>5. 議事要旨</td><td></td></tr><tr><td>    (1) 日本語 .....</td><td>15</td></tr><tr><td>    (2) 英語.....</td><td>19</td></tr><tr><td>6. 若手研究者の参加報告</td><td></td></tr><tr><td>    (1) 小論文 .....</td><td>24</td></tr><tr><td>    (2) 筆者略歴 .....</td><td>28</td></tr><tr><td>7. 成果.....</td><td>50</td></tr><tr><td>8. アンケート集計報告.....</td><td>52</td></tr><tr><td>9. 共同団体紹介.....</td><td>55</td></tr><tr><td>10. 事務局.....</td><td>56</td></tr></table>	1. 開会宣言.....	1	2. 開会挨拶.....	4	3. 詳細日程.....	6	4. 出席者略歴.....	9	5. 議事要旨		(1) 日本語 .....	15	(2) 英語.....	19	6. 若手研究者の参加報告		(1) 小論文 .....	24	(2) 筆者略歴 .....	28	7. 成果.....	50	8. アンケート集計報告.....	52	9. 共同団体紹介.....	55	10. 事務局.....	56
1. 開会宣言.....	1																												
2. 開会挨拶.....	4																												
3. 詳細日程.....	6																												
4. 出席者略歴.....	9																												
5. 議事要旨																													
(1) 日本語 .....	15																												
(2) 英語.....	19																												
6. 若手研究者の参加報告																													
(1) 小論文 .....	24																												
(2) 筆者略歴 .....	28																												
7. 成果.....	50																												
8. アンケート集計報告.....	52																												
9. 共同団体紹介.....	55																												
10. 事務局.....	56																												

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 一般財団法人国際経済交流財団  
(コクサイケイザイコウリュウザイダン)

住 所： 〒141-0061  
東京都中央区銀座3丁目7-3 銀座オーミビル5階

代 表 者： 会長 豊田 正和 (トヨダ マサカズ)

担当部署： 業務部長 (ギョウムブチョウ)

担当者名： 石井 淳子 (イシイ ジュンコ)

電話番号： 03-6263-2517

F A X： 03-6263-2513

E-mail： [gyoumu@jef.or.jp](mailto:gyoumu@jef.or.jp)

U R L： <https://www.jef.or.jp>